ひびきあい

飯綱町立牟礼小学校「学校通信」
No. 12　令和２年１０月１６日
文責：髙原

10/4 令和２年度 全力で頑張りました！運動会

新型コロナの影響で、春から秋へ移動した今年度の運動会。対策のため、種目や日程等々、大幅に見直さざるを得ませんでした。本来であれば大勢のご来賓や地域の方々をお招きし、子どもたちの活躍に声援を送っていただくところでしたが、それも叶いませんでした。本当に残念です。

それでも、どうすればできるのか、前向きに考え、種々の工夫を重ねました。子どもたちもめあてをもち、やる気一杯で準備や練習に励みました。半日開催ではありましたが、中身の濃い、多くを学ぶことのできた運動会になったと思います。この経験と思い出は、きっと一人一人の未来につながっていくことでしょう。保護者の皆様には、当日の温かな応援はもちろん、PTA 環境整備や前日のテント張り、運動会後の片付けまでご協力いただきました。福井団地のコミュニティ様には、たくさんの児童用テントをお貸しいただき、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施することができました。心より御礼申し上げます。

鼓笛隊の皆さんは、１学期にはほとんど練習ができなかったにも係わらず、見事なパフォーマンスを見せてくれました。

熱心に取り組んだ朝練習の成果ですね。かっこよかったです！

残念ながら大きな声を出しての応援はできませんでしたが、応援団の皆さんは、きびきびとした動きでとても立派でした。

応援は手作りの“鳴り物”で。

赤ねこ白ねこたっきゅうびん

お荷物を急いで大切に届けました。

たのしく！おもしろく！やってみよう！

1，２年生が全力で踊りました！

ステップを踏みながらのけん玉はお見事！
最後のポーズも決まったね！

ねらいをさだめて

ボールを蹴って箱を相手の陣地へ。
勝敗の行方に盛り上がりました！

音を感じて「信濃の国」

旗が揃うように、バサッと音が鳴るように、練習を重ねました。きれいでした！

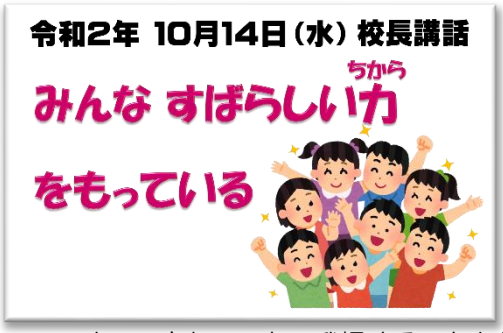
ワープリレー

5,6 年生の走りは力強いです。
ワープするのでハラハラドキドキ！

つながり

“静と動”をテーマに、一人技とダンスに
挑戦。降り出した雨にも負けず頑張りました。

ロック，アイドル，ブレイク，ヒップホップと、
実にたくさんのパートがあったのですが、
全員が踊れるようになってしまいました。
すごい！指導してくださったダンサーさんが
見守る中、最高のダンスを見せてくれました。



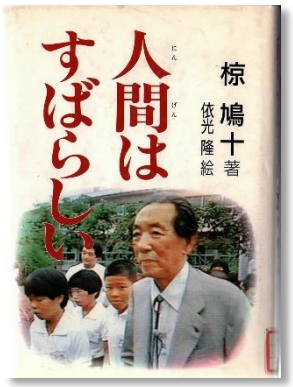
おはようございます。朝夕涼しくなりましたが、元気に登校できている皆さんが多くて嬉しいです。気持ちを緩めることなく、手洗い，うがい，マスクを忘れず続けていきましょう。

10月4日の運動会では、赤も白も、そしてどの学年の皆さんも、もっている力を精一杯出し切って活躍していて、素晴らしかったです。先生方が写真をたくさん撮ってくれたので、全部見たいところですが、ごく一部だけ紹介します。一緒に振り返ってみましょう（略）。

コロナでできないこと、我慢することもたくさんありましたが、できることは何だろうと前向きに考えて取り組んでくれたことが、何より嬉しかったです。勝って嬉しかったこと、負けて悔しかったこと、練習の成果を発揮したこと、たくさん拍手をもらったこと、自分の役割を果たしたこと、友だちと協力をしたこと…どれも全てが皆さんの力となり、未来につながっていく宝物です。大切にしてください。

9月のわくわく未来塾では、ちびゆりさん，チョッパーさん，西川アナウンサーさんをお招きして、お仕事のお話を伺いました。今回も皆さんの感想を読ませてもらいました。またいくつか紹介します（略）。これからも、わくわく未来塾では、素敵に輝いている大人の方々を迎えてお話を聞いていきます。楽しみにしていてくださいね。

今日の校長講話では、「椋鳩十先生」のお話をしたいと思います。



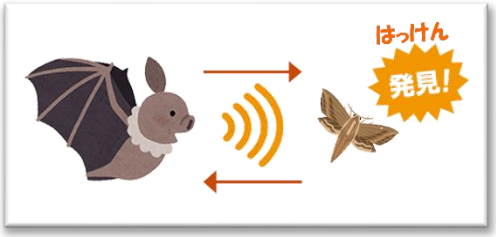
椋鳩十先生は作家（本を書く人）です。知っていますか。5年生の国語の教科書には、「大造じいさんとガン」というお話が載っているので、5，6年生の皆さんは知っていますね。図書館にもこの方の本が何冊かあるので、他の学年でも知っている人がいるかな。動物のお話をたくさん書いている作家さんですね。椋先生は、この長野県の出身でいらっしゃるので、是非興味をもって読んでほしいなと思っている作家さんです。私も小学生の頃、椋鳩十先生の『片耳の大シカ』や『おおかみ王ロボ』というお話が大好きで、何度も繰り返し読んだことを覚えています。

この本は、椋鳩十先生の『人間はすばらしい』という本です。椋先生は、今から30年ほど前に他界されているのですが、亡くなられる4ヶ月前に、ご出身の長野県下伊那郡にある喬木第一小学校の5年生にされた授業の様子が収められています。その本の中で、小学生の皆さんにこのようにお話されています。

「トンボにしろ、アリにいろ、ハチにしろ、ヘビにしろ、みんな、それぞれふしぎなカ、“ふしぎな”というよりも、“すばらしい”かなあ…。“すばらしい力”が、地球上にあるものぜんぶ、生きているものぜんぶにあたえられている。“すばらしい力”をあたえられずに、生まれているものは、ひとつもない」。

例えば、トカゲ。トカゲは、モズなどの鳥に襲われたとき、何と自分でシッポの根元から切り落とす。そのシッポは、切れると同時にピンピンと動くんですね。モズは動くものに目を向ける習性があるから、その動くシッポをくわえて飛んでいく。その間に、トカゲは岩の間に逃げて、自分の命を守るんですね。命は守れたけれど、トカゲはしっぽがなくなっちゃって困りますよね。どうするのでしょう。トカゲのシッポは、何と、またはえてくるのです。人間であるあなたは、どうでしょう。泥棒がきて、あなたの腕をつかんだとします。つかまれたときに、エイッと腕をふると、プリッと腕がとれて逃げることができますか。腕がなくなっちゃったら、またはえてくるでしょうか。そんなことできないよね。人間にはできないけれど、トカゲにはできる。トカゲは“すばらしい力”を持っていますね。

皆さんはコウモリを知っていますか。コウモリは、まっくらな中でも自由自在に飛べる。どうして光がなくても飛ぶことができて、木をよけたり、餌となるハエとかカといった昆虫をつかまえたりすることができるのでしょう。それは、コウモリが超音波を出すことができるからなんですね。自分が出した超音波が、木とか昆虫にぶつかって跳ね返ってくる。その跳ね返ってきたわずかな超音波をとらえて、それが何かを判断することができる。



あなたは、真っ暗闇の中を、自由自在に走り回ることができますか。超音波を出すことができるでしょうか。できませんよね。コウモリは、“すばらしい力”を持っていますね。

アリだって自分の体重の何倍もの物を運んで歩くような力を持っている。ウサギは、敵に襲われないように、長い大きな耳を眠っている時でも動かして警戒することができる。超音波を出すことができないコウモリは一匹もいない。力のないアリだって一匹もいない。では、人間はどうでしょう。自分で腕を切ったり、超音波を出したりすることはできません。ならば、人間はどのような“すばらしい力”を持っているのでしょう。椋先生は、こうおっしゃっています。

「（ところが、）人間は、動物として生きるための力のほかに、ひとりひとりに、それぞれ、べつべつの“力”をあたえられておる。絵のじょうずなひと、歌のじょうずなひと、それから、作曲のじょうずなひと、手さきのきようなひと、口のたっしゃなひと、足のはやいひと、全員、それぞれね、“すばらしい力”を、きみたちは持っておる。……なんかしらん、どういうものかはしらんけれども、きみたちは、じぶんのなかにすばらしい“宝物”を、どんなひとでも、みんな、ひとりひとりが持っておる。」

「そういう力を出すために、勉強したり、本を読んだり、感動したりして、そうしているうちに、しぜーんと、力がわいてくる。力が出てきたときに、はじめて、『あ、じぶんに、こんな力があったのかな』と思う。」

牟礼小学校の皆さんも、一人一人、すばらしい力を持っています。そして、椋先生がおっしゃるように、例え、まだ自分にある“すばらしい力”がどんなものか分からなくても、皆さんが今、勉強していることが、将来「すばらしい力」を発揮するためのもとになるのだと思います。

椋鳩十先生は、小学校時代、作文の成績が今でいう「△」だったそうです。だから、椋先生も、「だーれも、わたしがこんな、物語を書いていきるような人間になるとは思わなかった。そんなふうにわからんものだ、人間だけは……」とおっしゃっています。そんなに苦手だったのに、どうして文章を書く作家さんになれたのでしょう。

「（成績は）一番下だったけれども、ものを読んだりなんかすることが好きで、本を読んだり、書いたりしているうちに、ものを書いて生きる人間になったんだ。」「そう、きみたちはみんな、“すばらしい力”を持っているんだから、これからは、そういうじぶんの持っている“力”をどのようにして出すか、そういうことをよく考えることが、大事だと思うね。」

そう考えると、今、音楽が苦手だと思っている人も、将来、音楽のお仕事に就くかもしれない。今、ダンスがうまく踊れない人も、将来、ダンサーになるかもしれない。理科が苦手な人も、お医者さんや科学者になるかもしれない。「上手にできないから」「他の人より下手だから」と投げ出してしまわないで、やりたいことに夢中になって取り組んだり、努力をしたりしていくことが大切なのだと、椋先生は教えてくださっています。

皆さんがどんなお仕事に就くのか、校長先生もとても楽しみです。

おしらせ

運動会に向けたダンスの取り組みが、NHK で放送されます。ぜひ、ご視聴ください。

10 月 23 日（金）

午後 4:05～　NHK ラジオ第１　**『ゆる信ワイド』**２時間生放送

午後 6:10～　NHK テレビ　**イブニング信州内「ちびゆりの『みんなで DISCO』」**

午後 7:30～　NHK テレビ　**『知るしん』**　ドキュメンタリー番組

６年生の三水小との交流会の模様も、**10 月 28 日（水）**の『みんなで DISCO』で放送予定です。